



Pick Up News 設計課題は前半課題の提出・発表の時期。1年生は初めての作業に戸惑いもあるかと思いますが、コツを覚えて「やる」しかありません。向き合った時間だけ力はつきます。あせらず、じっくりと。2年生は住宅の設計。人の暮らしを思い描き、条件に沿いながら形にしていくことの楽しさや難しさを経験していることでしょう。手描きの表現は個性が出てよいですね。3年生は小学校の課題を終え、図書館の課題に。両施設とも機能を整理しながらまとめ上げる課題。スケジュール管理が大切です。そして4年生は卒業設計のプレ演習となるスタジオ設計課題。建築家が提示した課題を自由な発想でまとめ上げてプレゼンするのは大変だったことでしょう。いずれにも言えることは、設計で大切なことは、上手い下手、良し悪しではありません。その時間、課題に向き合って、格闘しながらもコツコツ積み上げて形にして、まとめ、自分の意志と意図を持って表現し、発表することです。どれだけの時間をかけて調べ、悩み、考え、手を動かしたかで差が出るのです。それらを通して、将来必要となるさまざまな力が養われ、自信もついでいきます。

東北工業大学
建築学部
Lecture for young architects 14
「サイバニクスと都市」



山海嘉之
筑波大学教授
サイバニクス研究センター
研究統括・F-MIRAI センター長
CYBERDYNE 株式会社
代表取締役社長 / CEO

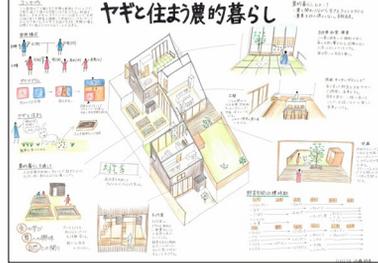
日時: 7月6日 * 9:30-10:30
場所: 1号館 131 教室
対象: 全学年学生 + zoom 申込者(先着 100 人)
申込 URL:
<https://forms.gle/mdVu1LnLnpK9GDd87>

山海嘉之
筑波大学教授 / CYBERDYNE (株) 代表取締役社長、CEO
スウェーデン王立工科大学カデミー国際フェロー、
日本ロボット学会フェロー、計測自動制御学会フェロー

脳神経科学、行動科学、ロボット工学、IT、人工知能、システム統合技術、
生理学、心理学、哲学、倫理、法学、経営などの異分野を融合させた
新学術領域【Cybernetics (サイバニクス) : 人・ロボット・情報系の
融合体】を創成



サイバニクスを駆使することで、超高齢社会が直面する社会課題解決
のために、革新技術創生、新産業創出、人材育成を同時進行し、好循環
のイノベーションを推進しながら未来開拓に挑戦している。内閣地
理大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、紫綬褒章など受賞多数。



2年生の「建築設計Ⅲ」。この講義では、「傾斜地に建つ二世帯住宅」の設計課題に取り組んでいましたが最終発表会が行われました。「傾斜地」と「二世帯」という二つの条件を検討する必要がある難しい課題でしたが、これまで取り組んできた成果を担当の先生方や仲間たちの前で発表しました。



Lecture for young architectsの14回目。
これは必聴!



1年生の「建築表現」は、大学に入学して模型制作の課題に取り組む最初の授業。普通高校出身の学生にとっては、初めて本格的な建築模型を制作する機会です。講義では模型材料の切り方から、組み立て方まで模型製作の基本的な手法を学び、そのあと自分なりに工夫してデザインした建物の模型を制作、写真の撮影までしました。

4年生は「建築設計デザインⅢ」での最終発表・講評会。5つのスタジオに分かれての設計で、学科としても初めての試みでしたが、それぞれのスタジオで建築家の先生が出した課題に向き合い、まとめ上げることができました。卒業設計の取り組みに繋がる取り組みになったものと思います。

Pick Up Lab. 今ある日本の古い建築物を、実際に目で見て理解を深めたいと思い、歴史の**中村研究室**を選びました。中村研の良いところは、実測調査など課外実習が多いところです。実際に古い建築物を見て、先生やいろいろな講師の方から話を聞いたり、歴史ある建物の実測製図の作成をしたりするので、より興味も湧きますし楽しく学べます。中村先生の伝統建築の知識量が凄いので、実習のたびに圧倒されます。また実測調査は宮城県だけでなく、東北を中心に県外にも行くことが多いので、建築物を学ぶ以外にも土地勘や地元の方と話すことも多々ありコミュニケーション能力も身に付くと思います(4年・千葉璃乃)



歴史的建造物の実測図CAD



北上川ヨシ原での茅刈り実習移動方法の研究


2年 須田 結衣 さん
青森北高校 出身

Pick Up Student 1年生の頃は慣れない一人暮らしや課題、サークル活動で手一杯で余裕がありませんでしたが2年生になり様々なことに慣れてきて、講義の復習をしたり、建築設計の課題の模型や図面をより時間をかけて丁寧に制作したりすることにより時間をかけることができるようになりました。授業内容が1年生の時よりも難しくなったと感じているので、今年度はより多くの知識を身につけることを目標に時間を有効に使っていきたいです。また今までは構造系に興味があったのですが、材料や環境など、講義の中で他の分野の勉強も面白いと感じているので様々な勉強をしていく中で自分が進みたい分野についてしっかり考えて今年度の大学生活を送りたいです。


1年 白倉 諒典 くん
駿台甲府高校 出身

Pick Up Student 東北工業大学に入学して3ヶ月目に突入しました。ようやく一人暮らしにもなれ、毎日楽しい大学生活を送っています。この3ヶ月の間に感じたことは製図を書くことは思ったより難しいということです。普通科高校出身のため専門知識を一切持たずに入学したこともあり、1回目の製図の授業はとても困難を極めました。それでも先生方の説明を受けて徐々に描けるようになってきました。また、カメラが趣味ということもあり写真部に入学しました。初めての文化部なので、今後の活動などとても楽しみにしています。私は小学生の頃から一級建築士になりたいという夢があります。夢を叶えるために今後の大学生活も楽しく、何事にも全力で過ごしていきたいです。